

## 最終版 第3回 小樽市議会 「市民と語る会」

平成26年5月23日(金) 梅広会館

平成26年5月24日(土) 奥沢本町会館

平成26年5月26日(月) 幸会館

	意見・質問等	答弁等	議会対応
意見 梅広	<p><b>・市民と語る会について</b> 語る会は大事だが、検討していく、お金がないばかり。人口が減少している中でそれを話していても増えない。もっと前向きな議論をしてほしい。札幌の若い人を呼んで新ビジネスを作っていく等、小樽を良くするために失敗しても良いので官民間問わず他市から人を呼び議論をするなどしてほしい。(入船・若男)</p>	【要望として伺う】	【要望として受け止め】
意見 梅広	<p><b>・市民と語る会、議会だよりについて</b> 語る会は要望を聞く会なのか。議会活動を見てもらいたいのか目的がわからない。議会だよりを見ると、市民の要望をそのまま質問している。それであれば私でもできる。議会は「このように検討した」と報告して頂きたい。議会だよりの書き方も変えてほしい。(梅ヶ枝・男性)</p>	<p>議員の仕事は①議案の議決 ②行政をチェックする機能 ③政策立案 と3つ。議会は、意見をそのまま伝えるのではなく質問も組み立てながら行っている。政策も議員同士がもんで理事者に伝える流れを作ろうとしている。語る会の目的はそこにもある。</p>	【当日回答のとおり】
質問 奥沢	<p><b>・新幹線について</b> 新幹線が来ることに対して議論されているのか。</p> <p>小樽観光にとってチャンス。大阪の新幹線は手前の京都でたくさんの方が降車する。小樽も京都になってほしい。その様な議論はなされているのか</p> <p>議論内容を私たちも知ること出来るのか新幹線の議論について市民にも分かりやすい形を出してほしい。(住吉・男性)</p>	<p>・総務委員長 総務常任委員会で議論している。仮称新小樽駅の場所や在来線について財政負担についてなど。</p> <p>アクセスを含め観光等議論されている。</p> <p>議事録は紙面でするのは量的に難しいが、ホームページや必要であれば事務局などに要求してほしい。広報では今後お知らせする機会もある。</p>	<p>第2回定例会で質問した会派がありました。詳細は小樽市議会ホームページの本会議録を御覧ください。</p>
要望 幸	<p><b>・原発について</b> 原発が一番大きな問題としてとらえ小樽市議会でも泊原発再稼働について慎重な議論をしてほしい。(最上・男性)</p>	<p>・副議長 意見書も出ているが各会派喧々諤々議論している。</p>	<p>第2回定例会で質問した会派がありました。詳細は小樽市議会ホームページの本会議録を御覧ください。</p>

	意見・質問等	答弁等	議会对応
質問 幸	<p>・カジノについて IRはばくち法案だ。市長は雇用の創出 経済効果が期待できるといっている。 議論も寂しいものになっているが、今の 議論について聞きたい。 (幸パーク・男性)</p>	<p>・副議長 IR推進法は今国会で審議されるかも 決まっていない。推進法が仮に通っても つぎに実施法案で詳細が決まる。 道内は他市も手をあげており、議会では メリットやリスク、問題をしっかり議論し 市民の意見を聞いていく段階である。</p> <p>・予特委員長 4定での議論は、実施法案の中身も分ら ないので議論がかみ合っていない。 議論の内容は、誘致した場合のデメリットを しっかり市民に知らせる事や 教育環境の懸念、治安の悪化 カジノ周辺の環境悪化の件など議論。</p> <p>・経済委員長 国の審議内容が伝わっておらず 情報収集の段階。</p>	<p>第2回定例会で質問した会派が複 数ありました。 詳細は小樽市議会ホームページ の本会議録を御覧ください。</p>
意見 幸	<p>・カジノについて カジノは賭博。カジノで小樽の経済を 活性化させるのはいかがか。 (稲穂・男性)</p>		
質問 幸	<p>・人口問題について 民間研究機関が2040年まで北海道の 147自治体が消滅するのではとの予想が 出た。議員はどう受け止めているのか。 市民には届いていない。 (幸パーク・男性)</p>	<p>・予特委員長 人口問題については議会でも議論 されている。今回の委員会では質問者が 具体的な数字を出して議論した。 市の対策を雇用だけでなく、子育てや 教育、住環境など住みやすさをセットで 考えていく。 各会派でも人口対策は話し合われている ところ。国の政策の更なる推進も期待 している。</p>	
質問 奥沢	<p>・人口対策について 人口対策について各会派の考えを 聞きたい。 考え方に市民との開きがある。若い人に 小樽に住んでくれる対策を考えてほしい。 (奥沢・男性)</p> <p>(各会派の話を聞いて) 今意見や考えを聞いたが選挙演説と 何ら変わりがない。 新企業を銭函につくっても小樽から 通うのか。 教育についても若い世代に押し付けて 居るように思う</p>	<p>・自民党 (本市の人口の状況を説明) 議会としても自民党としても切実な そして大事な課題。有効手段がなく 企業誘致や移住対策も取り組んだが 増加していないのが現実。出生率を 高くしないとダメだが特効薬がない。</p> <p>・共産党 人口増加には政治の力で労働条件の 改善をすることが大事。特に若い非正規 労働者は所得が200万円くらいしかない。 子どもはもとより結婚する事も出来ない 劣悪な状況があるのが主な要因。 国会では正規労働を無くしようという方向 で法案が出されている。働くことは正社員 が当たり前の社会を作る事大事。 共働きする若い世代の方々が安心して 産み育てられる、また保育条件の改善。 二つ目は、景気を回復して新たな企業が 立ち上がり働く人の労働条件改善。 他自治体で行っている就学前の乳幼児 の医療費の無料化など実現し安心して 育てる事が出来る条件を作ってい かなければならない。</p>	<p>第2回定例会で質問した会派が複 数ありました。 詳細は小樽市議会ホームページ の本会議録を御覧ください。</p>

	意見・質問等	答弁等	議会对応
質問 奥沢	<p>・人口対策について 人口対策について各会派の考えを聞きたい。 考え方に市民との開きがある。若い人に小樽に住んでくれる対策を考えてほしい。 (奥沢・男性)</p> <p>(各会派の話を聞いて) 今意見や考えを聞いたが選挙演説と何ら変わりがない。 新企業を銭函につくっても小樽から通うのか。 教育についても若い世代に押し付けて居るように思う</p>	<p>・公明党 人口減少は若い世代が小樽からいなくなるのが大きな問題。企業誘致や市の企業内のサポート充実が大事。 国の方でも女性力を生かすために対策をすすめているが女性の復職支援や安心して子供を預けることが出来る場の確保。そして起業したい人に対するサポートなど政策をとる事が大事。</p> <p>・民主党・市民連合 人口減少の要因は少子高齢化や働く場がなく流失している。 要点は2つ。一つは小樽の街の魅力として子育てしやすい環境をつくり、「小樽は子育て支援が進んでいる街」にする事。 もう一つは、働く場の確保が大事。 既存企業や新企業を育てる事や、他自治体より小樽が有利になるようなアイテムを議会で考えていく。</p> <p>・一新小樽 増えない原因について調査した。 本市は毎年2千人人口が減っているが国勢調査から、札幌から小樽へ通っている人の数が変わっていない。 小樽に雇用があっても札幌に引っ越すケースが多い。結果、雇用だけを作っても小樽には住んでいない可能性が高い。また、小樽は子育てや教育が劣っており予算も少ないと考える。 結果、国立人口問題研究所の予想で小樽市は生産年齢35歳から39歳と5歳から9歳の、年代が一番減少する。一番脂がのる年代の子育て世代が減っていくのは、家の購入に手稲などの方が安い。本市ではリフォーム条例を作ったが、今後も住環境整備や子育て教育について充実し若い世代が住めるよう取組んで参りたい。</p> <p>・議長 語る会の原型は、市議会と市民なのでご理解を頂きたい。</p>	<p>第2回定例会で質問した会派が複数ありました。 詳細は小樽市議会ホームページの本会議録を御覧ください。</p>

	意見・質問等	答弁等	議会対応
質問 奥沢	<p>・<b>税収確保について</b>            税収の落ち込みをどこでカバーするのか議員定数削減でカバーするのか。            また、IRも市長が韓国に行ったが議会で賛成していったのか。            税金で行ったのであれば、予算の使い道を、我々も見る事が出来るのか。</p> <p>(男性)</p>	<p>(議員定数については議案提案者と共産党から説明)</p> <p>・<b>議長</b>            市長が韓国訪問した事案は、議会の議決事項ではない。            今回市長は韓国を訪問したのは良い、悪いの判断材料の一つにするためと理解している。            予算についてはホームページや来庁して閲覧も出来る。</p>	<p>【当日回答のとおり】</p>
意見 要望 幸	<p>・<b>街路防犯灯について</b>            市から補助はあるが町内会の電気代負担は大きいのかかかっている。            世帯数が減っているのに街路灯は減らせない。安心して暮らす事が出来るよう対策を考えてほしい。</p> <p>(?町会・男性)</p>	<p>・<b>建設委員長</b>            既に水銀灯も作られていない中で他の町内会長さんからも同様の意見要望がでた。            議会としても、街路防犯灯について中身を精査しながら具体的にどういう事を提言し、限られた予算の中で何が出来るのかしっかり検討していきたい。</p>	<p>第2回定例会で質問した会派が複数あり、市長から前向きな答弁がありました。            詳細は小樽市議会ホームページの本会議録を御覧ください。</p>
要望 梅広	<p>・<b>街路防犯灯について</b>            平成25年4月から水銀灯は製造されていない。そのため壊れるとLEDに換え無くてはならない。街路灯の町内会での維持管理が難しくなっている。            町内会はS52年770世帯から現在350を切っている。しかし街路灯本数は変わらない。計画的に老朽化した電柱も変えたいが、市の助成制度には予算枠があるため、計画的に進めることも出来ない。現状を理解し対策をとってほしい。</p> <p>(石山・女性)</p>	<p>・<b>建設委員長</b>            街路防犯灯の問題は切実である。大きな町会や人口減少が少ない所など状況が違う場合もある。全市的にもどのような制度にしたらいいのか大きな課題としてしっかり取り組みたい。</p>	
質問 奥沢	<p>・<b>学力向上について</b>            学力向上のために全国学力・学習状況調査の結果を誰のために何のために公表するのか。子供も教師も競争させられる。なぜ公表するのか聞きたい。</p> <p>(女性)</p>	<p>・<b>予特委員長</b>            公表に関しては各会派意見が分かれるところ。ただ保護者からは公表を望む声もあり、本市の学力向上のためには学校だけでなく保護者に現状を把握して頂き家庭学習に取り組んで欲しいとの視点。</p>	<p>第2回定例会で質問した会派が複数ありました。            詳細は小樽市議会ホームページの本会議録を御覧ください。</p>
質問 幸	<p>・<b>救命具の補充について</b>            第3ふ頭にある救命具の補充を頼んだが2か月経っても出来ず議員に相談し2週間で解決。どうなっているのか。</p> <p>(幸・男性)</p>	<p>・<b>司会</b>            全議員が真摯に受け止め取り組む。</p>	<p>【当日回答のとおり】</p>
意見 要望 幸	<p>・<b>子育て支援への要望</b>            子育て世代に、思い切った家賃補助を。</p>	<p>・<b>司会</b>            全議員が真摯に受け止め取り組む。</p>	<p>【当日回答のとおり】</p>
意見 要望 幸	<p>・<b>市立病院について</b>            市内でお産できる病院が限られ選択肢が少ないのは不安。</p> <p>(幸・男性)</p> <p>市立病院に産婦人科がないが努力してほしい。</p> <p>(幸パーク・男性)</p>	<p>・<b>市立病院委員長</b>            ご意見を局長に伝える。</p> <p>・<b>副委員長</b>            市立病院に産科が無くなった経緯について説明。</p>	<p>【当日回答のとおり】</p>

	意見・質問等	答弁等	議会対応
要望 梅広	<p><b>・投票所について</b> 高齢化にともなって高台にある学校等へ投票に行けなくなっている。 会館や空き店舗など有効に使ってほしい また、若い方は日曜日など買い物などに出掛けるのでショッピングモールなどでも投票ができるようにしてほしい。 (豊川町・女性)</p>	<p>・総務委員長 投票所の場所について高齢者に配慮し低い所に出来ないのか選管に要望を伝える。</p> <p>・総務副委員長 委員会で、商店街や大型店舗での投票所について議論があった。答弁は、すぐには出来ないが検討するとの話。 改めて要望は伝える。</p>	<p>第2回定例会で総務副委員長が質問しました。 詳細は小樽市議会ホームページの本会議録を御覧ください。</p>
要望 梅広	<p><b>・除雪について</b> 除雪センターに苦情を言ってもさっぱり対応してくれない。役所の職員も居ればいいと言う感じである。除雪業者は何かしてくれた先には配慮して除雪をしている。除雪の仕方にも問題があるので議員から言ってほしい。 (末広・男性)</p>	<p>・建設委員長 対応の悪い所があるのは事実。 人口減少箇所等も含め効率よく検討するよう伝える。</p>	<p>第2回定例会で質問した会派がありました。 詳細は小樽市議会ホームページの本会議録を御覧ください。</p>
要望 幸	<p><b>・私道の舗装の件</b> 私道の舗装の補助金申請には持ち主の承諾が必要だが確認が極めて困難なケースもある。議会で検討してほしい (幸・男性)</p>	<p>・司会 全議員が真摯に受け止め取り組む。</p>	<p>【当日回答のとおり】</p>
要望 幸	<p><b>・公営住宅の住み替えについて</b> 塩谷から若竹の公営住宅に優先的に移転したが暖房やガス器具など燃料の仕様が違うため低所得者が準備するには大きな負担。 (幸・男性)</p>	<p>・司会 全議員が真摯に受け止め取り組む。</p>	<p>【当日回答のとおり】</p>
要望 梅広	<p><b>・市民プールにつて</b> 議会を傍聴しているが後期計画は前期より後退し総務部の答弁を聞いていると条件整備事業にしような話だった。総合計画のありようが全く議論されておらず、陳情も期限切れで繰り返されている。公認プールがなく競技会すらできない状況がある。陳情は採決して欲しい。 (男性)</p>	<p>【要望として伺う】</p>	<p>【要望として受け止め】</p>

	意見・質問等	答弁等	議会对応
質問 幸	<p>・議員定数削減について</p> <p>議員に対して不信感がある。 市民の声に耳を傾ける議員は今でも充分とは言えない。なぜ減らすのか。 (オタモイ・女性)</p>	(議案提案者2名から説明)	
質問 意見 奥沢	<p>・議員定数について</p> <p>議員定数のフォーラムに参加したがその内容や、市民からの意見、そして連合町会との話でも削減した方が良いとの意見は出なかったと聞いた。自治基本条例に照らしても定数削減の話が出るのは市民をバカにしている。また、議員一人に対して人口が多くなると市民の声が届きにくくなる。望んでいるのは、市民の声を丁寧に拾ってほしい。議員が汗をかいて働き自ら追い詰めるような事をしなくても良い。また、観光の街小樽をカジノでとばくの街にするのか。人のお金を巻き上げて小樽の経済を活性化するのは反対。社会保障問題など市民に犠牲が強いられているので、国などに物申す議員であってほしい。 (女性)</p>	(議長から議員定数について経緯の説明)  議案提案者から説明 自民党の話の途中で質問者より時間がないから良い。と発言あり。	
意見 梅広	<p>・議員定数について</p> <p>フォーラムに参加したが、講師の話では議員定数は色々な観点で考えるべきで小樽の定数は多くないと言っていた。市民の意見を聞くことなく定数削減が新聞報道され議員に不信感を持った。今必要なのは定数削減ではなく、人口減少の中で街の活性化を真剣に考えるべき。定数を削減したお金を市民に還元するという。石狩湾新港やマイカルの失政を棚に上げて今度はカジノとは。本当に市民の事を考えているのか。会派に帰り市民の声をどのように伝えるのか考えてもらいたい。(富岡・男性)</p>	議長から…議案に至るまでの経緯  議案提案者代表2名と共産党から考え方等の説明	第2回定例会において、議員定数を3減し25人とする条例改正案が投票採決の結果、賛成多数で可決されました。 詳細は小樽市議会ホームページの本会議録を御覧ください。
意見 梅広	<p>・議員定数について</p> <p>定数削減は賛成できない。削減は人の首を切ると言う事。議員が減ると言うことは担当地域の面積が増えると言う事。定数削減の議論が2年経っても折り合いがつかないなら仕切り直した方がいい。一新小樽の21は、理由が理解できない自民党等には、人口が減ったら議員を減らす事を繰り返してほしくない。議員が少なくなると他自治体や国に対して物が言えなくなる。(末広・男性)</p>		
意見 梅広	<p>・議員定数について</p> <p>一新小樽は少数精鋭でやるといっている。人口減など言っているが減らすと少数意見を、抹消する事になる。本当に減らして良いのか。(男性)</p>		
意見 奥沢	<p>・議員定数削減反対</p> <p>人口対策、企業誘致、子育て、空き店舗等、小樽は問題が多いのに人口減だから定数を減らす、特別会計もあるのに十分議論できるのか。議員の質と数は別問題。</p>	(議長から議員定数について経緯の説明)  議案提案者から説明 自民党の話の途中で質問者より時間がないから良い。と発言あり。	